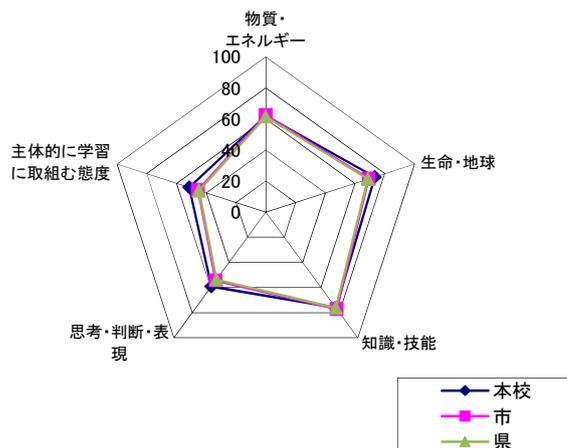


宇都宮市立清原北小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	62.0	62.5	61.5
	生命・地球	73.3	69.2	68.6
観点	知識・技能	76.1	77.2	76.3
	思考・判断・表現	59.2	54.4	53.7
	主体的に学習に取り組む態度	51.5	45.5	44.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市を0.5ポイント下回り、県を0.5ポイント上回っている。</p> <p>○「電気のとおり道」の平均正答率は、全ての項目で市・県の平均を上回っている。特に電気を通す物と通さない物の理解は、県の平均正答率を10ポイント近く上回っている。</p> <p>●「風やゴムのはたらき」におけるゴムを伸ばす長さや車の動く距離の関係を推測する問題の平均正答率は、県の平均正答率を20ポイント近く下回っている。</p>	<p>・電気が通る導線のつなぎ方について理解を深めさせるため、ブラックボックスを使用した演示実験や、基礎的理解を活用した工作等、思考力・判断力・表現力を育成できる活動を盛り込む。</p> <p>・「ゴムの長さによる車の進んだ距離の違い」の実験に加え、「指定された範囲に車を止める実験」を行い、様々な実験のまとめから一般的な考察につながる授業を行う。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市・県の平均を大きく上回っている。</p> <p>○「植物の育ち方」の平均正答率は、県の平均正答率とほぼ同じか、大きく上回っている。特に育つ順と草丈の関係を読み取る問題については、県の平均正答率を32.7ポイント上回った。</p> <p>●虫眼鏡の使い方を身に付けているかを問う問題の平均正答率は、県の平均正答率より9.7ポイント低かった。また、棒温度計の目盛りの読み方を身に付けているかを問う問題の平均正答率は、8.1ポイント低かった。</p>	<p>・一人一台端末を活用して植物の育ちを写真で記録したり草丈の高さを合わせて記録したりするなどデータを蓄積し、結果やまとめに活用させていく。</p> <p>・器具を操作する際、基本的な使い方を確認してから実験したり、パフォーマンステストをしたり使用する回数を増やしたりするなどして、操作に慣れさせる。</p>